

長崎大学附属図書館医学分館 近代医学史料展示室

長崎大学は、1857年にオランダ海軍軍医のポンペが開設した医学伝習所をルーツとしています。当館展示室では、ポンペの時代から本学の前身である長崎医科大学時代までに収集された医学史料を中心に展示しています。日本の医学の歩みを象徴する貴重な資料の数々をぜひご覧ください。

養生所泥絵



医学校に附設された
日本初の近代西洋式病院

キュンストレーキ



日本最古の紙製人体模型
1860年にパリから輸入

聴胸器



現在の聴診器の元となった
日本最古の聴胸器

紅夷外科宗伝



日本最初の翻訳外科書。外科
医の祖パレの外科書等を引用

解体新書



初版全5巻揃。佐賀に疎開
させたことで被爆を免れる

日本植物誌



シーボルト編纂の
日本の植物図鑑
などなど

学会期間中は下記時間内であればいつでもご見学可能です。
入口で見学希望とお伝えください。※個人利用のための撮影可 

◇ 長崎大学附属図書館医学分館 ◇

tel : 095-819-7013 medlib@ml.nagasaki-u.ac.jp

【見学時間】 平日：9時～21時 / 土日祝日：10時～19時

当館HP“医学は長崎から”もあわせてご覧ください → → →

医学は長崎から



\\ こちらの2Fです //



\\ 被爆資料修復のためのクラウドファンディングにご支援をお願いします /

2025年、長崎は被爆80年を迎えます。長崎大学が所蔵している貴重な被爆資料を
未来に引き継ぐために、クラウドファンディングを中心とした募金活動を行います。
皆様のご支援をよろしくお願いいたします！！最新情報はコチラから → → → →

